

9 留学生が外国語を履修する方法

留学生は本学において勉学の成果を十分に上げるために、日本語および英語等の本学開講外国語科目を次の規定に従って履修する必要がある。以下に語学科目の履修方法を説明する。

登録はすべて学生自身の責任においてなされる。日本語科目の履修方法に誤りがある場合は、誤った履修科目の受講は不可能となり単位修得はできない。

1) 入学時実施の日本語能力判定試験によるレベル分け

日本語課程は、『日本語基礎前期』『日本語基礎後期』『日本語通常』の3つの課程で成り立っている。日本語科目の履修には日本語能力判定試験の受験を必須とし、その試験結果に従い日本語科目の履修課程を決める。

『日本語基礎前期』または『日本語基礎後期』と判定された者は、表1の通り、日本語基礎科目の単位を修得しなければならない。なお、日本語基礎科目の単位を修得後、下記に示す留学生の語学科目（選択必修）の履修が必要となる。

『日本語通常』と判定された者は、日本語基礎科目の履修は不要となり、留学生の語学科目（選択必修）の履修が必要となる。

表1 学科別 履修科目・単位数一覧

課程	科目	単位	合計
基礎前期	日本語1	14	24
	日本語2	8	
	アカデミックジャパニーズ	2	
基礎後期	日本語2	8	10
	アカデミックジャパニーズ	2	

2) 基礎科目として履修すべき単位数

留学生の語学科目（選択必修）は、学科によって卒業要件単位数が異なる。各学科の履修方法は表2の通りである。なお、留学生が履修可能な外国語は母語および母国語以外の言語に限る。

表2 学科別 履修科目・単位数一覧

学科	学年	科目	単位	合計
政治経済	123P	日本語3・4	10	10
		英語	8	
欧米文化	123A	日本語3・4	4	16
		日本語3・4または英語	4	
日本文化	123J	日本語3・4	10	14
		本学開講の外国語	4	
子ども教育 心理福祉	123C・123S	日本語3・4	4	8
		日本語3・4または英語	4	

3) 日本語課程の開設科目

表3-1 日本語課程開設科目一覧 基礎前期課程入学生用

課程	科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	授業形態 (単位/講義)	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業
				春学期	秋学期	その他			
基礎前期	JAP-100	日本語1(文字語彙)A	1	○			1~		※1
	JAP-100	日本語1(文字語彙)B	1	○			1~		※1
	JAP-100	日本語1(読解)	2	◎			1~		※1
	JAP-100	日本語1(聴解)	2	◎			1~		※1
	JAP-100	日本語1(作文)	1	○			1~		※1
	JAP-100	日本語1(口頭表現)	1	○			1~		※1
	JAP-100	日本語1(応用日本語)	1	○			1~		※1
	JAP-100	日本語1(文法)	1	○			1~		※1
	JAP-100	日本語1(アカデミックスキル)	1	○			1~		※1
	JAP-100	日本語1(試験対策)	1	○			1~		※1
基礎後期	JAP-100	日本語1(日本事情)	1	○			1~		※1
	JAP-100	日本語2(聴解)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語2(日本事情)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語2(文法)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語2(アカデミックスキル)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語2(読解)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語2(作文)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語2(文字語彙)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語2(応用日本語)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	アカデミックジャーナリズム	2	◎	◎		1~		※1
通常課程	JAP-100	日本語3(聴解)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語3(日本事情)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語3(アカデミックライティング)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語3(アカデミックスキル)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語3(応用日本語)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語4(聴解)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語4(日本事情)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語4(アカデミックライティング)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語4(アカデミックスキル)	1	○	○		1~		※1
	JAP-100	日本語4(応用日本語)	1	○	○		1~		※1
自由選択	JAP-100	日本語A	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語B	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語C	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語D	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語E	1	○	○		1~		

124

※1の単位をすべて修得済みであること

表3-2 日本語課程開設科目一覧 基礎後期課程入学生用

課程	科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	授業形態 (単位/講義)	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業
				春学期	秋学期	その他			
基礎後期	JAP-100	日本語2(聴解)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語2(日本事情)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語2(文法)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語2(アカデミックスキル)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語2(読解)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語2(作文)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語2(文字語彙)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語2(応用日本語)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	アカデミックジャーナリズム	2	◎	◎		1~		※2
	JAP-100	日本語3(聴解)	1	○	○		1~		※2
通常課程	JAP-100	日本語3(日本事情)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語3(アカデミックライティング)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語3(アカデミックスキル)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語3(応用日本語)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語4(聴解)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語4(日本事情)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語4(アカデミックライティング)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語4(アカデミックスキル)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語4(応用日本語)	1	○	○		1~		※2
	JAP-100	日本語A	1	○	○		1~		
自由選択	JAP-100	日本語B	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語C	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語D	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語E	1	○	○		1~		

※2の単位をすべて修得済みであること

表3-3 日本語課程開設科目一覧 通常課程入学生用

課程	科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	授業形態 (単位/講義)	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業
				春学期	秋学期	その他			
通常課程	JAP-100	日本語3(聴解)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語3(日本事情)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語3(アカデミックライティング)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語3(アカデミックスキル)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語3(応用日本語)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語4(聴解)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語4(日本事情)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語4(アカデミックライティング)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語4(アカデミックスキル)	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語4(応用日本語)	1	○	○		1~		
自由選択	JAP-100	日本語A	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語B	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語C	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語D	1	○	○		1~		
	JAP-100	日本語E	1	○	○		1~		

4) 日本語科目の履修方法

- ① 日本語科目の履修方法は表4の通り、履修課程によって、履修可能セメスターが異なる。

表4 履修可能セメスター

課程	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター
基礎前期	日本語1	日本語1・2『アカデミックジャパニーズ』	日本語3	日本語3・4
基礎後期	日本語2『アカデミックジャパニーズ』	日本語3	日本語3・4	
通常	日本語3	日本語3・4		

- ② 日本語1・2の科目単位および『アカデミックジャパニーズ』は、卒業に必要な自由選択科目の単位として数えることができる。
日本語3・4の科目単位は、卒業に必要な基礎科目群の単位として数えることができる。
- ③ 基礎前期課程生が日本語3・4の科目を履修するためには、以下の単位を修得済みであること。
・日本語1の科目14単位、日本語2の科目8単位、『アカデミックジャパニーズ』2単位
基礎後期課程生が日本語3・4の科目を履修するためには、以下の単位を修得済みであること。
・日本語2の科目8単位、『アカデミックジャパニーズ』2単位

5) 英語科目の履修方法

- ① 欧米文化学科の留学生、欧米文化学科以外で英語科目を履修する学生は、英語プレイスメントテストを受験すること。
- ② 英語科目の履修条件は、各学科の基礎科目群の表を参照のこと。
- ③ 英語科目を語学科目（選択必修）として履修する場合は、下記の通り履修すること。

〔政治経済学部〕

政治経済学部の留学生が英語科目を履修する場合は、自由選択科目として数えられる。

〔人文学部欧米文化学科〕

人文学部欧米文化学科の留学生は、表5-1の通り8単位を履修すること。英語科目を語学科目の選択必修として履修する場合は、英語科目から、さらに4単位（選択必修）を履修すること。

- ④ ECA（留学生のための英語）1単位について
・語学科目（選択必修）の単位として数えられないため注意すること。
・履修条件は、英語学習歴1年未満、またはTOEIC Bridge 88点以下とする。

表5-1 英語科目〔人文学部欧米文化学科〕

授業科目の名称	必修		開講期			対象学年	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業
	必修	選択	春学期	秋学期	その他		
英語科目							
ECA(Speaking) I	2		◎	◎		1	
ECA(Speaking) II	2		◎	◎		1	
ECA(Reading) I	1		○	○		1	
ECA(Reading) II	1		○	○		1	
ECA(英語基礎表現) I	1		○	○		1	
ECA(英語基礎表現) II	1		○	○		1	

〔人文学部日本文化学科・子ども教育学科・心理福祉学部〕

人文学部日本文化学科・子ども教育学科・心理福祉学部の留学生が英語科目を語学科目（選択必修）として履修する場合は、表5-2の通り4単位履修することが望ましい。

ただし、子ども教育学科の留学生が教職課程（幼・小）に学ぶ場合、「ECA（Speaking）I」（2単位）は必修である。

124留

表5-2 英語科目〔人文学部日本文化学科・子ども教育学科・心理福祉学部〕

授 業 科 目 の 名 称	選 択	開 講 期			対 象 学 年	備 考	○印週1回授業 ◎印週2回授業
		春 学 期	秋 学 期	そ の 他			
英語科目 ECA(Speaking) I	2	◎	◎		1		
ECA(英語基礎表現)	1	○	○		1		
ECA(Reading) I	1	○	○		1		

6) 語学科目（選択必修）以外に開設されている留学生用科目

表6 語学科目以外に開設されている留学生用科目

課 程	授 業 科 目 の 名 称	単 位	開 講 期			対 象 学 年	備 考	○印週1回授業 ◎印週2回授業
			春 学 期	秋 学 期	そ の 他			
英語科目	ECA（留学生のための英語）	1	○	○		1	※履修条件あり ※語学科目（選択必修）には含まれない	
キャリア教育科目	ビジネス日本語対策講座 A	1	○			3～		
	ビジネス日本語対策講座 B	1		○		3～		
教養科目	日本社会	4	◎	◎		1～		

※英語学習歴1年未満、またはTOEIC Bridge 88点以下

7) 英語による科目（交換留学生用）

聖学院大学は、5校のアメリカの大学と4校の韓国の大学と姉妹校提携を結んでおり、提携校の学生は、一学期間または一年間、本学に留学することができる交換留学制度、「Japan Studies Program (JSP)」がある。交換留学生が希望すれば、下記の英語による科目を履修することができる。

交換留学生は「英語による科目（表7）」、「日本語科目（表3-1）」以外の科目については、担当教員の許可があれば履修できる。

表7 英語による科目

課 程	授 業 科 目	単 位	開 講 期			対 象 学 年	備 考	○印週1回授業 ◎印週2回授業
			春 学 期	秋 学 期	そ の 他			
専 門 科 目	International Business	4		◎		2～		
	グローバルコミュニケーションスキルズ	2		◎		2～		
	グローバルリーディングスキルズ	2	◎			2～		
	グローバルライティングスキルズ	2		◎		2～		
	アカデミックライティングスキルズ	1	○			2～		
	Public Speaking	4	◎			2～		
	Academic Debate	4		◎		2～		
	Media Literacy	4		◎		2～		
	English through Literature	4		◎		2～		隔年開講
	International Business	4		◎		2～		隔年開講

英語を母語としない学生は、TOEFL380点以上またはTOEIC380点以上の取得を条件に履修することができる。なお、履修手続き方法については教育支援課・学科の指示に従うこと。